

# 中国太郎の発掘日記

島根県埋蔵文化財調査センター  
TEL0852-36-8608  
江の川発掘調査事務所  
TEL0855-52-7685

島根県埋蔵文化財調査センターからのお知らせです



## しものほら 森原下ノ原遺跡（江津市松川町八神）

5月から開始した江の川河川改修事業に伴う発掘調査も約4ヶ月が経過しました。残暑が続くなか発掘調査を行っています。本号では、大量の土器が出土した河川跡の様子を紹介します。

調査区の西側（写真左）は平安時代（10世紀頃）の江の川の氾濫によって削られており、それより古い遺構は東側約半分に残っているようです。

そこでも河川の流れによって運ばれた砂の堆積が確認でき、大量の土器が出土しました。土器は弥生時代前期（約2,600年前）から平安時代（約1,200年前）までかなり幅があります。おそらく氾濫によって周辺の集落跡などの遺跡が削られ、様々な時期の土器が流れ着いたのでしょう。その中にはミニチュアの土器や鉄斧、粘土で作られた勾玉などが見つかっており、これらは日常の生活ではなく、祭祀で使用されたものと考えられます。遺跡のすぐ近くを流れていた江の川に向かって、何を祈っていたのでしょうか。



江の川本流の氾濫跡  
※左側の白砂が氾濫後に溜まった砂

### おねがい

調査中の遺跡は深く掘り下げた部分があり、大変危険です。事故防止のため調査区内に立ち入らないようにお願いします。

見学を希望される方は上記発掘調査事務所までご連絡ください。



発掘調査箇所の位置

## 勾玉って？

勾玉とは三日月の形をしたアクセサリーで、紐を通すための穴が開いています。日本では縄文時代から登場し、呪的な力を信じて身につけたと言われていました。島根県では瑪瑙（めのう）や碧玉（へきぎよく）などの美しい石で作られ、古墳のお供え物として使用されることが多いです。



邑南町湯谷悪谷2号横穴墓出土の玉類  
（岩橋孝典編 2019『古墳文化の珠玉』  
古代出雲歴史博物館）

## 土で作られた珍しい勾玉

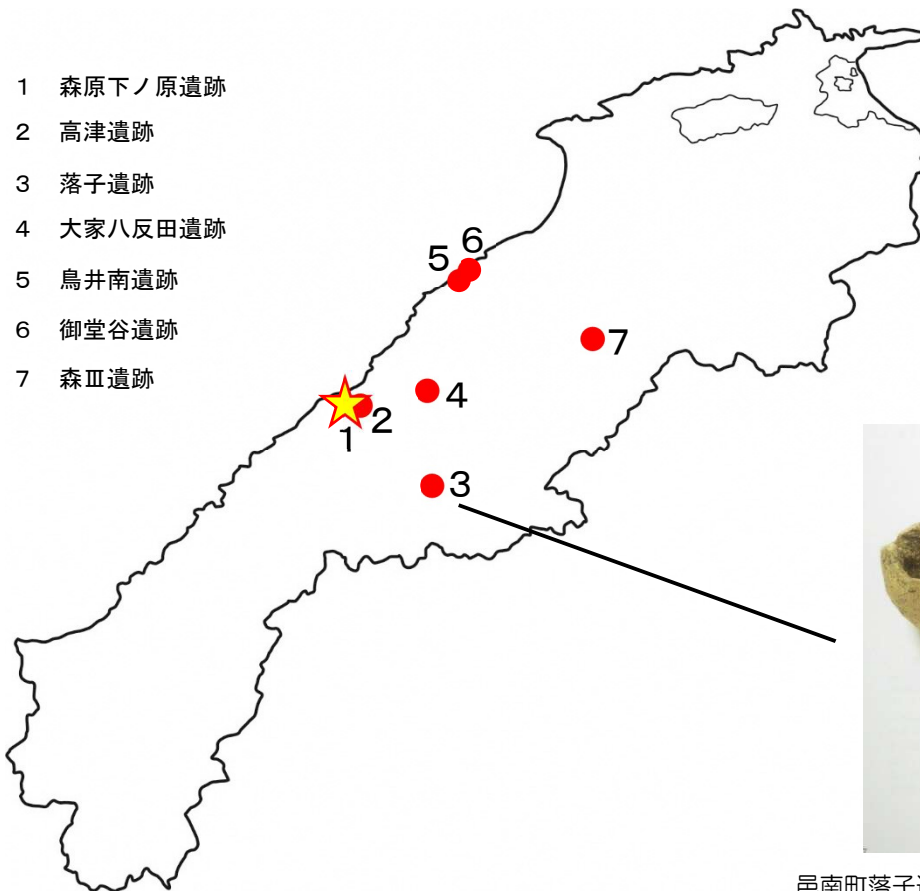
一方、森原下ノ原遺跡では土で作られた勾玉が出土しました。これらは古墳からは出土せず、集落や祭祀を行ったと思われる遺跡から出土することが多いようです。

島根県で土製勾玉が出土した遺跡は県の中央部に限られており、この辺りでは同じような信仰が広がり、祭祀を行っていたのかもしれませんが。



森原下ノ原遺跡出土の土製勾玉

- 1 森原下ノ原遺跡
- 2 高津遺跡
- 3 落子遺跡
- 4 大家八反田遺跡
- 5 鳥井南遺跡
- 6 御堂谷遺跡
- 7 森Ⅲ遺跡



邑南町落子遺跡出土の土製勾玉と祭祀の道具

島根県で土製勾玉が見つかった遺跡

（岩橋孝典編 2019『古墳文化の珠玉』古代出雲歴史博物館）より作成